

MEN'S EX

仕事に効く「Vゾーン」とは?

[メンズ・イーエックス]

MAY
2016 5

www.mens-ex.jp

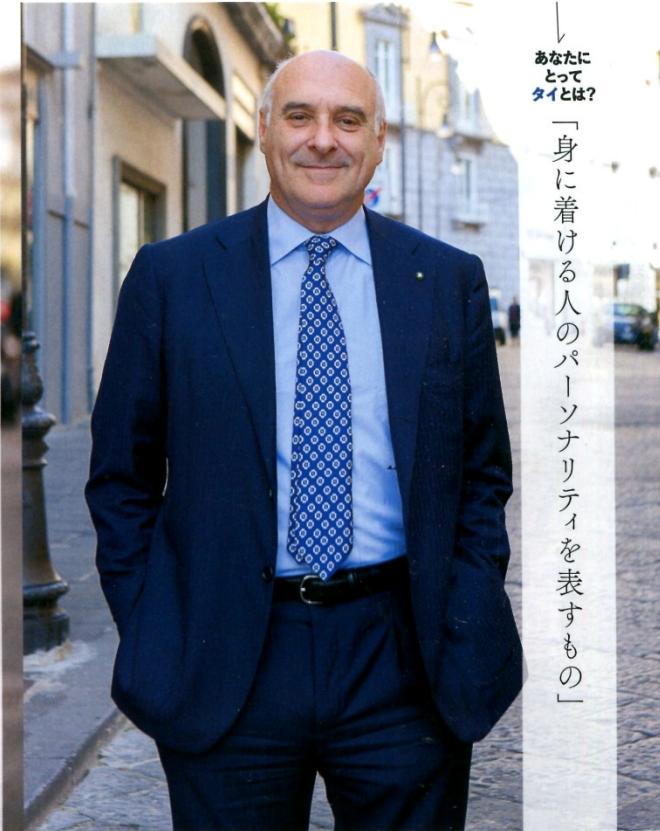
イエムウエストンの「180」、
トラートの「ボスティーナ」etc.
「16 MEN'S EX認定！」置って間違いない
名品スタンダード図鑑AMS中村達也氏と視察した
「世代ナポリの
モノ作り」ナポリの進化形
「アヴァー」最新事情おかげさまで
創刊
23周年【好評連載】
傑作はこうして作られる
「エルメスの時計」
今、買いたいアイテム
「ホワイトジャケット」表紙の
堤 真一成功例
200

ビジネスの勝算は Vゾーンにあり!

スーツ&シャツ&タイ

どんな存在ですか?」

Vゾーンの顔であるネクタイの作り手は、タイの合わせにどのような哲学を持っているのだろうか。最高峰のタイを作り続けるキーパーソンたちに、その信念を訊いた!



「ステファノ・ビジ」CEO **STEFANO BIGI**

ステファノ・ビジさん

スーツとタイでコントラストを出したVゾーン作りが好みだというビジ氏は、ステファノ・ビジの3代目当主でありながら、自身でデザイナーも務める。ス・ミズーラしたクラシックな紺のスーツに、綿と麻を混紡したタイを合わせ、エレガンスとカジュアルの差をつけることで自身のスタイルを表現している。「色、柄、結び方ひとつで自分を多彩に演出できるネクタイは、紳士の装いの中で唯一遊べるパート。その人のパーソナリティが表れる場所だと言えます。だからこそ、他の人の着こなしを真似してもどこか似合わず、失敗してしまうということがしばしば起こるのではないかと思う。口で語るよりも雄弁にその人を表してしまうVゾーンは、男性にとって最も重要なポジションです。私自身“ここ一番”という日にはその舞台に相応しいVゾーンを心掛けています」

FROM MILANO **STEFANO BIGI**

小さなタイ工房として始まった1938年の創業当初のまま、生産工程がハンドメイドで行われる。クラシックな作りにビジ氏の都会的な感性を織り交ぜたタイを展開。今季の一押しは、玉虫色にも見えるカジュアルさが特徴の綿・麻の混紡タイ。



各1万6000円(バインド ピーアール)

「マリネッラ・ナボリ」CEO **MAURIZIO MARINELLA**

マウリツィオ・マリネッラさん

マリネッラ・ナボリの現社長で3代目当主のマウリツィオ氏。タイのブルーが鮮やかで、スーツやシャツとの美しいコントラストは、太陽が燃々と輝くナボリの街並みに映えるだろう。「今日のタイは特に気に入っている色、春夏を迎えるに相応しい鮮やかな発色が特徴です。私にとってネクタイは個人の感情や状態が表れるもの。午前中は、このように明るい色のタイに水色のシャツの組み合わせで、一日の始まりを迎え、午後はセレモニーやコンサート、演劇に行くために濃い色のタイを白シャツに締める。そんなその時々の気持ちや姿勢に合わせた使い分けが、ネクタイの装いを楽しむ秘訣です。また、下ろしたてのタイは、初めの30~40回ブレーンノットで結びます。その後ネクタイの長さが伸びてきてからは、ハーフウインザーノットにするのがこだわりの締め方です」

FROM NAPOLI **E. MARINELLA**

1914年に創業し、各国首相なども顧客を持つ、ナボリを代表する老舗。英国の上質シルクを用いたイタリア風の柔らかい仕立てが特徴。今季注目は繊細な色使いを鮮やかに発色させている新作。幅8cmと多少細めで、※ナボリ本店のみでの取り扱いだが、現在は薄手の芯地の軽やかな作りだ。



人気タイメーカーのキーマンに 「あなたにとってタイとは直撃インタビュー！」

↓
あなたに
とって
タイとは？

「巧
みに作
られ
たVゾー
ンはそ
の人の
顔を
作る」



「ドレイクス」クリエイティブ・ディレクター
MICHAEL HILL

マイケル・ヒルさん

2012年よりドレイクスのクリエイティブ・ディレクターを務めるヒル氏。大剣を長めにとこときゅっと小さく結んだノットや、四角四面な印象を避けるディンプルのズラしにも、独自の美学を感じさせる。「Vゾーンはその人の顔。対面したときに最も注目を受ける場所であるため、着用するアイテムの印象によって、その人のパーソナリティの見え方が大きく左右されます。また、シーンのTPO、自身の気分や状態によって、シンプルでクラシックに、あるいは一見して複雑な組み合わせにも変化します。コーディネートに関しては、ある程度のメンズウェアのルールはありますが、それよりその人らしさや、自分が良いと思う合わせ方を実践することが大切です。日本人で言うと、栗野宏文氏はクラシックと予想外の創造性を兼ね備え、ユニークで彼らしさがありますね」

 FROM LONDON
DRAKE'S

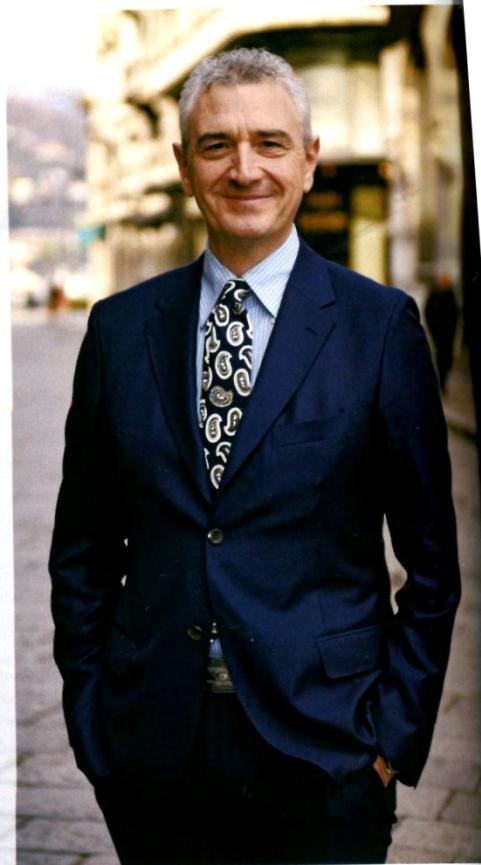
1977年に創業し、英国らしさ溢れるタイを中心とした同国きってのファクトリーブランド。サマーウールブレンド(左)、パナマ(中)、グレナディン織り(右)など、今季は素材感を活かした生地を裏地なしで軽快に仕立てたタイに注目したい。



左:2万円、中:2万4000円、右:2万2000円(ブリティッシュメイド 青山本店)

↓
あなたに
とって
タイとは？

「シーンに相応しい礼節が表現される場所」



「フランコ バッシ」クリエイティブ・ディレクター
CESARE BASSI

チェザレ・バッシさん

創業者フランコ・バッシの息子でありデザイナーも兼任するチェザレ氏。シックなブルーを基調とした優雅な装いにも、ボタンダウンをはずすなど広さを感じさせる。「カジュアルな会議の場など、あまりすぎず仕事に臨める日の装いをイメージしました。Vゾーンはシーンに合わせたTPOが踏まえられているべき部位。私は朝起きると必ずその日の予定を思い浮かべながら組み合わせを決めます。スポーティにするならジレにツイードなどのタイを合わせ、フォーマル感を出すならマットな素材感のシルクやカシミヤタイに、オックスフォードの細めストライプシャツを合わせるのが好みです。控えめながらエレガントのあるVゾーンに惹かれ、現代のビジネスマンのなかでは、テレコム・イタリアとピレリ社の会長を務めるマルコ・プロヴェーラ氏にそのような巧みさを感じます」

 FROM COMO
FRANCO BASSI

絹織物の聖地である北イタリアのコモで1973年に創業。生地もほぼオリジナルを使用し、細部までこだわった端正な仕上げの自主制作で、一からネクタイを作り上げる。チェザレ氏も誇りにしている大きなペイズリー柄は、同ブランドの今季の最大の特徴。



各1万6000円(アイネックス)